

いのちを考える市民講座

「いのちをつなぐということ

～看取りの現場に想う～

講演 写真家 フォトジャーナリスト 國森康弘氏



高齢化が進み、団塊の世代が75歳以上となる「2025年」を前に、日野市でも地域包括ケアシステムの構築が急がれています。地域包括ケアの構築には、みなが「いのち」について考え、これからどのように生きたいかを自分自身で選択していく必要があります。この市民講座では、医療・介護従事者だけでなく、市民の方など多くの方に参加してもらい、自分や家族の将来について、いのちについて考えられる内容にしたいと考えています。

写真絵本『いのちつぐ「みとりびと」』（農文協、現8巻）第一巻より

國森康弘（写真家、フォトジャーナリスト）

1974年生まれ。神戸新聞社記者を経てイラク戦争を機に独立。イラク、ソマリア、スーダン、ウガンダ、ブルキナファソ、ケニア、カンボジアなどの紛争地や経済貧困地域を回り、国内では、戦争体験者や野宿労働者、東日本大震災被災者たちの取材を重ねてきた。命の有限性と継承性がテーマ。近年では滋賀県東近江市永源寺地域をはじめ滋賀県や東北被災地、東京などで看取り、在宅医療、地域まるごとケアの撮影に力を入れている。滋賀・永源寺地域を舞台にした写真絵本シリーズ『いのちつぐ「みとりびと」第1集』（農文協、4巻）で2012年度けんぶち絵本の里大賞を受賞。

最新刊に、東北被災地を舞台にした『いのちつぐ「みとりびと」第2集』（農文協、4巻）や『ご飯が食べられなくなったらどうしますか？ ～永源寺の地域まるごとケア』（農文協、花戸貴司医師との共著）など。

■日時：平成28年 5月12日（木） 18時～ 20時（開場 17:30）

■場所：イオンモール多摩平の森 イオンホール

■参加費：無料（駐車場は各自で負担してください）

■内容：「命の有限性と継承性」について写真と言葉で語る講演会

主催：山の上ナースステーション（東京都教育ステーション事業として東京都の補助あり）

後援：日野市訪問看護ステーション協議会

お問い合わせ：山の上ナースステーション 電話：042-843-2881（市民講座係）

千葉大学大学院看護学研究科 修士研究プロジェクト 研究実施者 柴田 三奈子



参加申込書

(先着 300 名 定員になり次第締め切ります。当日キャンセルはできるだけご遠慮ください。)

お名前 (代表者) _____

連絡先 (電話番号) _____

参加人数 _____ 人

平成 28 年 5 月 12 日 (木) 18 時~20 時
市民講座「いのちをつなぐということ」

申し込み先【FAX 042-843-2883】

または、直接お電話でお申し込みください

連絡先 042-843-2881 (市民講座係)

【プロジェクトの説明】

この市民講座は、日野市における地域包括ケアシステム構築にむけ、地域住民が終末期や医療が必要な状況になっても、住み慣れた地域で尊厳を保ち最期まで生活することができるようにすることを目的に、千葉大学大学院看護学研究科 修士研究プロジェクトとして行います。市民講座終了後に、講演の感想や人生の最終章に関する考えをお答えいただくアンケートにご協力をお願いします。

【倫理的配慮】

この研究は、千葉大学看護学部大学院倫理審査を受けて実施しています。

1. 個人情報の保護

参加申し込みやアンケートで知り得た個人情報は、市民講座開催、研究以外の目的で使用しないことを保証します。研究結果は、修士論文としてまとめ公表する予定ですが、発表やデータで用いる場合も個人情報が特定されないように配慮いたします。

2. 任意性の保証

市民講座への申し込み時点で、研究の目的・主旨をご理解いただき承諾を得たものといたします。アンケートへの回答は、自由意思であるため、回答されなくても不利益が生じないことを保証します。

この件に関するお問い合わせ先 千葉大学大学院看護学研究科 看護システム管理学専攻 ケア施設看護システム管理学

株式会社 ラピオン 山の上ナースステーション 柴田 三奈子 連絡先042-843-2881